

原子力発電所対策特別委員会 道の駅整備調査特別委員会 ~道内行政視察~

去る6月27日から29日の3日間、道内行政視察を実施しました。主に、高レベル放射性廃棄物の地層処分技術に関する研究開発を行っている「幌延深地層研究センター」、道の駅るもいの屋内交流・遊戯施設「ちゃいるも」、このほか道の駅関連施設を視察してきました。

幌延深地層研究センター ~幌延町~

幌延深地層研究センターは、地層処分の技術的な信頼性を実際の深地層で確認するため試験研究を行っているところです。

国の基本方針では、泊原子力発電所などから出る使用済燃料から、燃料としてまだ使えるウランとプルトニウムを回収した後に残る高レベル放射性廃棄物を、最終的に地下深い地層中に処分することとしています。

◎地層処分に関わる地下研究施設には、2つの種類がある

①最終処分場として使用しない施設で技術を磨く地下研究施設

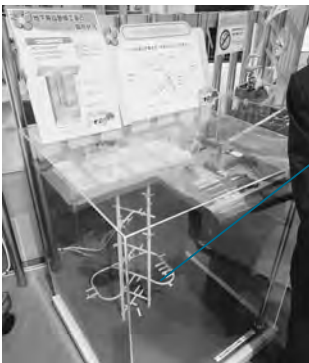
↓幌延深地層研究センターの地下研究施設が該当

②最終処分候補地の適性を見定める地下調査施設

↓最終処分場が建設されているフィンランドのオンカロなどが該当

◎地層処分システム

天然の岩盤と人工物を組み合わせた多重バリアシステムで、長期にわたる安全性を確保



幌延深地層研究センター
坑道模型
深度350m調査坑道を視察

◎地下深部の環境
①人間活動や自然現象(※)の影響を受けにくい
②酸素がほとんどなく、鉄の腐食などが起こりにくい
③地下水の動きが極めて遅い
(※)6月20日に宗谷地方北部を震源とする地震が発生し、幌延町で震度4が観測されました。その時の地表と地下深部での揺れの違いなどを伺いましたが、施設に異常はなく、揺れもほとんど感じられなかったとお話しされました。



深度350m調査坑道 (人工バリア性能確認試験実施箇所)



高レベル放射性廃棄物の処分については、原発を利用している世界各国の共通課題となつていきます。寿都町、神恵内村では令和2年11月から文献調査が開始されており、原子力政策に取り組む近隣自治体として、今後の動向を注視していきます。



議会を傍聴してみませんか？

第3回定例会は、9月上旬の開会予定です。

本会議を傍聴する際は、共和町役場3階 議場まで直接お越しください。入場前に、受付票に氏名・住所・年齢を記入し、受付箱に投函して入場してください。

道の駅るもい ～留萌市～ 屋内交流・遊戯施設「ちやいるも」

令和4年4月29日にグラントオープンした屋内交流・遊戯施設「ちやいるも」は、親子や家族で時間を過ごせるくつろぎの「空間」と、地域特産品等の「魅力」を発信する道の駅の新たな「交流拠点」となっています。

施設内には、遊戯ひろば、交流・休憩スペース、アンテナショップ（留萌市の特産品やお土産を販売）、カフェスペースなどがあり、主に遊戯ひろばを見学してきました。

◎考えられた2つのゾーン 【アクティブゾーン】

木製バンクやクライミングウォールのほか、様々な遊びが可能な複合遊具をメインに「はねる、登る、滑る」など体を動かすものや子ども豊かな想像力につながる遊具を設置

【クリエイティブゾーン】

大型ブロックなど、その場にある材料を使い想像力を養うことができる遊具を設置

◎遊戯ひろばの機能

施設のコンセプトである「親子や家族連れをターゲットとした、遊びの空間の創出」に向け、保護者が安心して見守りながら、幼児から小学生までの子どもたちが、家庭で遊ぶことのできる遊具などを使って自由に体を動かし、

- ① バランス感覚を育む
- ② 体力を育む
- ③ 想像力を育む
- ④ 安全・安心に遊ぶ

この4つの視点で遊びを楽しみ、空間づくりを行っています。



木製バンク
(アクティブゾーン)

- 開館時間 10時00分～16時00分
- 対象年齢 小学生以下（保護者の同伴が必要）
- 利用人数 1クール60人程度を上限
(1日3クール、1クール1時間30分)
- 利用料金 子ども1人につき100円（1クール）
- 利用方法 事前予約が可能



大型ブロック、木製キッチン、マグネットウォール
(クリエイティブゾーン)



複合遊具
(アクティブゾーン)

今回の行政視察では、道の駅の付属施設を重点的に調査してきました。特に、道の駅るもいの屋内交流・遊戯施設「ちやいるも」は、施設のコンセプトがしっかりと具現化されていると感じました。

現在、町では敷地の利用計画や建物の外観を絵に表す「基本設計」を進めています。この調査内容については、町とも情報共有を図り、道の駅の機能、管理・運営等について協議していきます。



ザランタン(The Lantown)芦別
グランピング施設

道の駅整備計画(案)にグランピングエリアが計画されていることから、株式会社ダイブが運営しているザランタン芦別に訪問し、グランピングの魅力や設備などを視察しました。